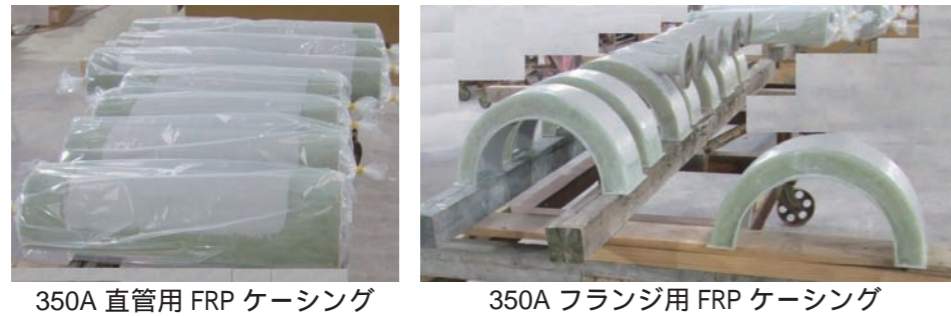


FCA 工法の特徴

1. 設備の運転を止めずに補修工事が可能です。
2. 水中硬化型エポキシ樹脂により、多少水が漏れていても施工可能です。
3. 既設 SGP 等の配管の外側に耐圧配管を形成していますので、元の配管が朽ちても配管機能を維持します。
4. エルボ・フランジ等の配管継手部も耐圧ケーシングを形成いたします。
5. ケーシングは工場で作成する為、現地施工は短期間で完了します。



各部紹介

図 -1 FCA 工法の分解図

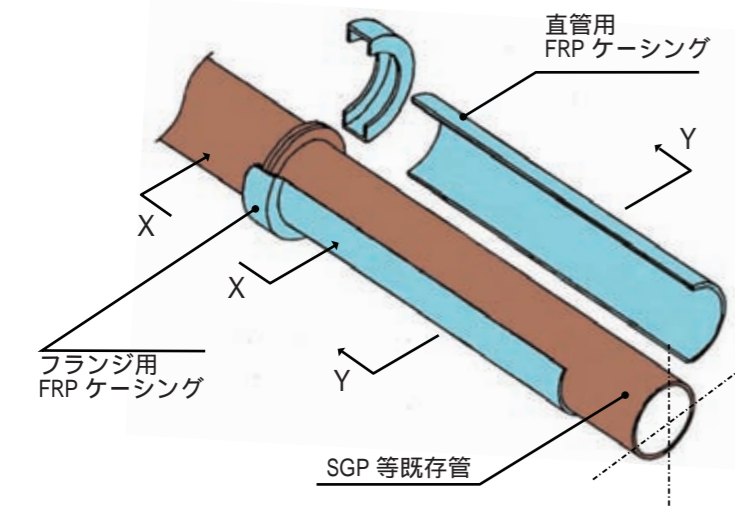
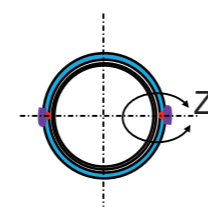
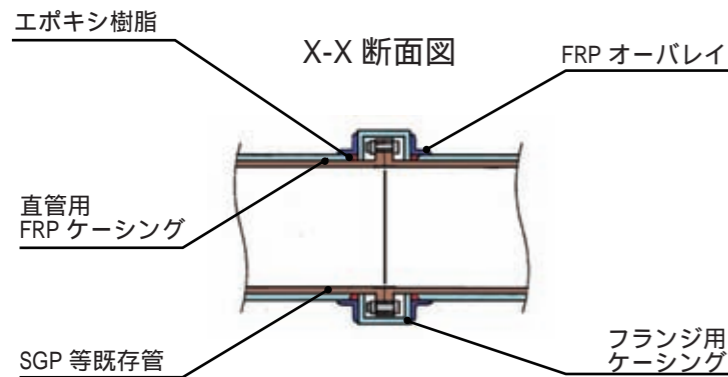
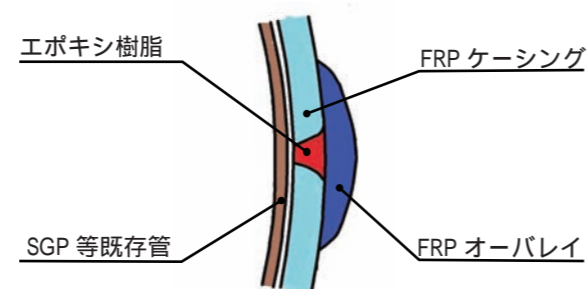


図 -1 のように既設配管を FRP のケーシングで包みます。ケーシングは水中でも硬化するエポキシ樹脂を使用する為、多少の水漏れがあっても施工可能です。

Y-Y 断面図

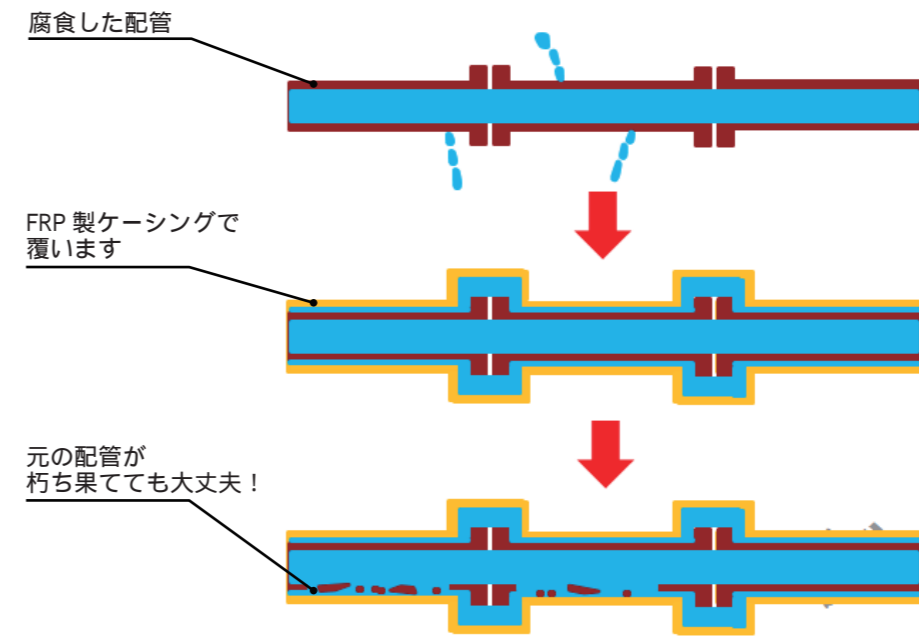


Z 部詳細



施工後のイメージ

ケーシングは高強度で軽量なため元の金属配管が朽ち果てても大丈夫！
配管を通る液体が多少漏れていても施工可能で、設備の運転を止めずに補修工事が完了します。



配管調査から完成までの工程



1. 調査
錆等の状況調査・測定器による肉厚測定を実施して報告書を提出いたします。



2. 施工
水漏れのある配管の場合、FRP ケーシングの仮止めまでできれば、止水になります。



3. 完成
オーバーレイでしっかり補強して配管補修が完成です。

1350A

クラウンジョイント部から液体が漏れている箇所にFRP製クラウン用ケースと直管用ケースを展開して耐圧ケースにしました。

施工前



クラウンジョイントからの漏れ

施工後



クラウン用耐圧ケース

直管用耐圧ケース

φ3600

地上部に公園や道路等があり、外側から補修できない大口径埋設配管は内側から施工可能です。厚いFRPセグメントを現場施工で耐圧ケースとしました。

施工前



φ3600の大きな管



FRP製セグメントを組み合わせる

施工後



耐圧ケース完成

FCA 工法

FRPハウジングによる金属配管補修



施工前



施工後

お問合せ先

本社

事業企画室
〒261-7119
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 WBG マリブウエスト 19階
TEL 043-350-3369
FAX 043-350-3384
e-mail jkikaku.agc@agc.com

AGCエンジニアリング株式会社